



JDSF

# PD資格について

2021.10.1

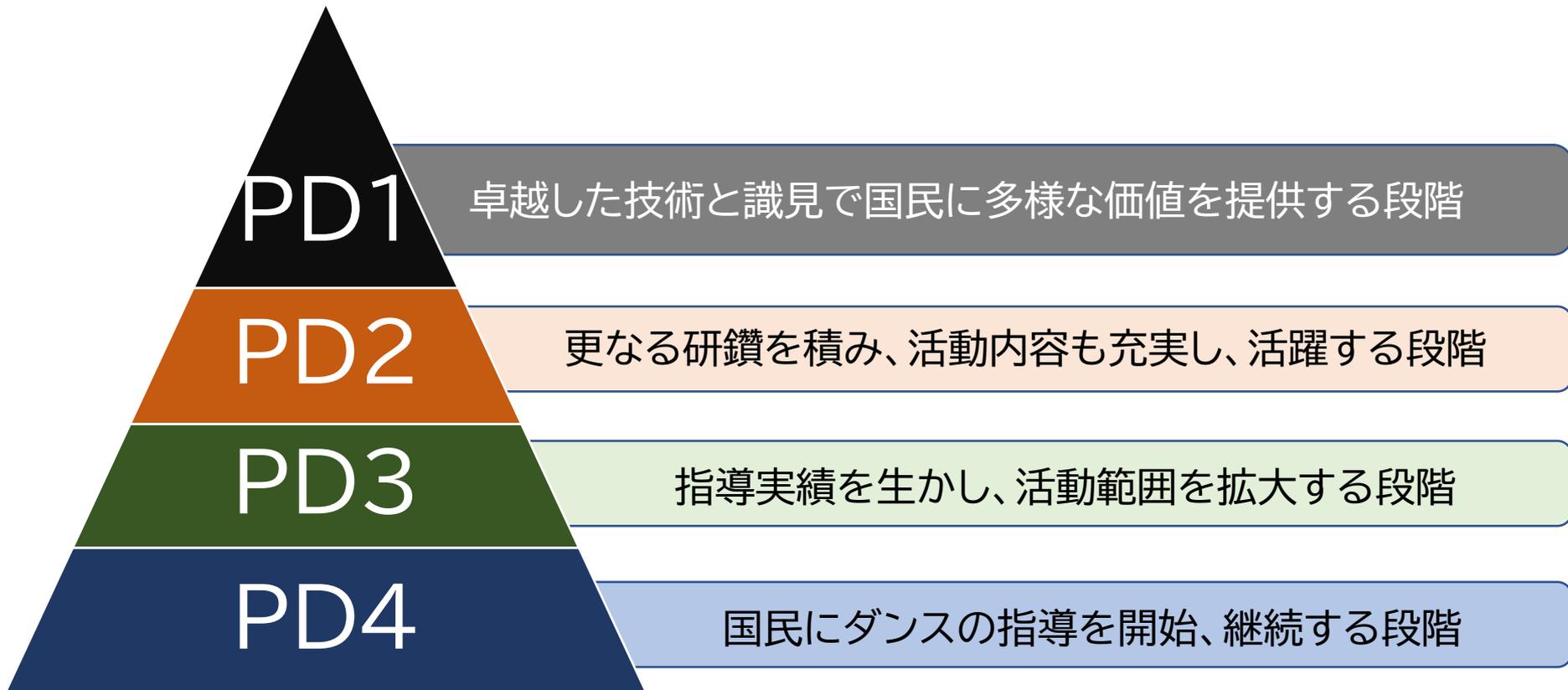
# 1. PD資格ビジョン

## (1-1) PD資格とは

JDSFが定款第3条に基づく目的を達成するために第4条に規定する事業を実施しますが、JDSFの目的及び事業に賛同して入会した個人のうち、ダンスの演技、ダンスの教授で生計を立てている者で、一定の基準を満足する者(PD資格試験に合格しPD資格登録した者)に与える資格のことをいいます。PD資格指導者は、高度な技術と社会性を持ち合わせる集団ともいえます。

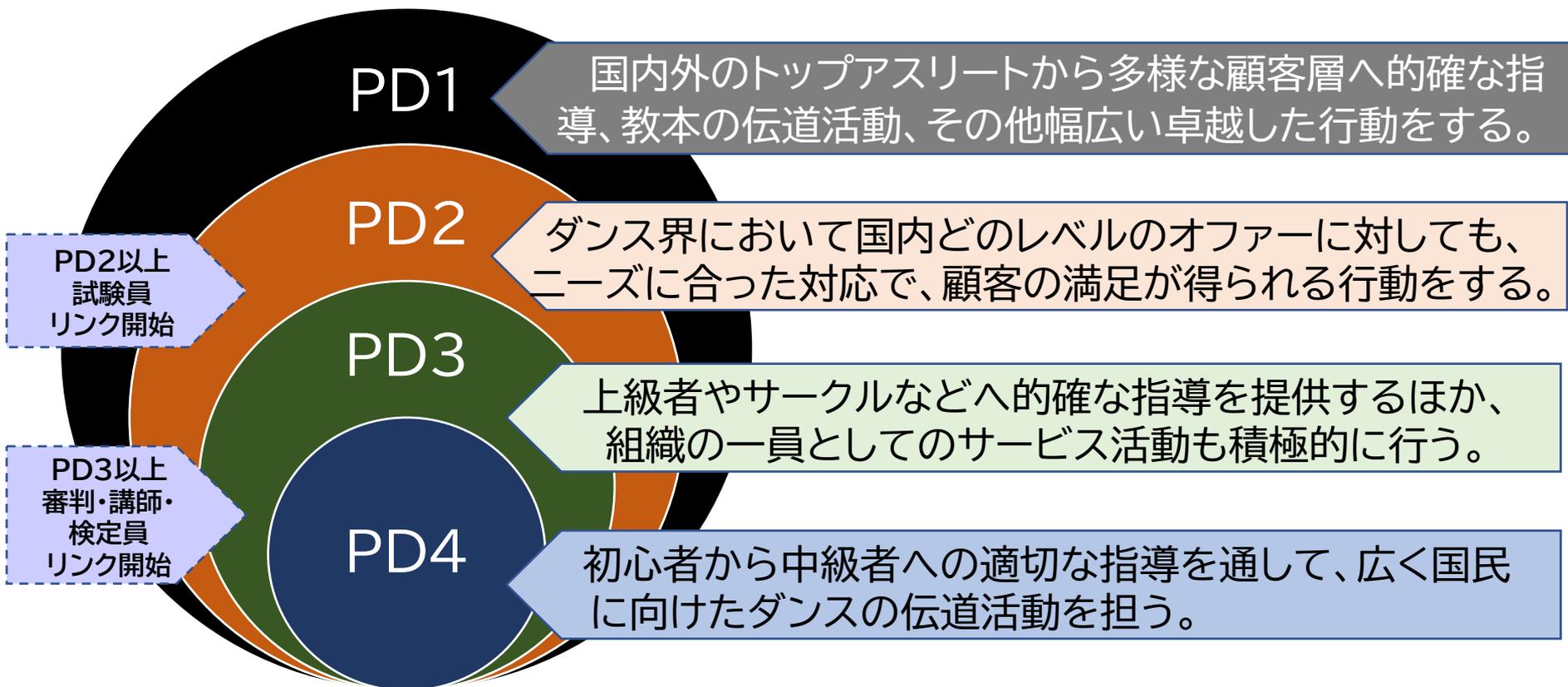
## (1-2) PD資格の種類とその特徴

PD資格は、次の4段階で構成され、それぞれ記載されているような役割が期待されます。



# 2. PD資格指導者行動指針

## (2-1) PD資格指導者に期待されるミッション



※上記は主たるミッションのイメージですが、PD資格指導者に求められる役割は社会環境の変化とともにさらに多様化していく可能性があります。

## (2-2) PD資格指導者には、前号に掲げるほか、それぞれの強みを活かした 役割や社会貢献活動等が期待されています。

PD1

有識者として学習機関、福祉施設など、用途とレベルに適した価値の提供や学術研究など、業界内外へのアプローチ。

PD2

教本の専門知識を活かし、講習会講師を積極的に行うなど、教本の伝道活動による業界内外への積極的貢献。

PD3

組織として開催する事業などへの積極的な参加を行い、業界内外へのサービス提供や広報活動による普及活動の拡大。

PD4

指導者としてのファシリテーション能力を発揮し、サークルの立ち上げ、イベントの企画開催などの社会貢献活動。

※上記は期待される役割のイメージですが、PD資格指導者に求められる役割は社会環境の変化とともにさらに多様化していく可能性があります。

# 3. PD資格試験について

## (3-1)PD資格試験の目的

国民に多様な価値を提供でき、  
ダンススポーツ教本を教授できる  
卓越した指導者の輩出

国内唯一の中央競技団体（NF）であるJDSFが、  
ダンススポーツ教本に基づいて実施する資格試験です。



## (3-2)進化するPD資格試験

PD資格試験は、PD資格ビジョンやPD資格指導者行動指針を達成するための「手段」です。

時代に即した資格試験であり続けるため、社会の趨勢や時々の状況の変化に応じて変更していくことを前提とし、常に振り返りと改善をしていくこととしています。

# 用語解説

## PD -Premier Division-

表紙、他

プレミア・ディビジョンの略。(Premier「最高の」、Division「部門」)  
JDSFでは、2016年6月にPD部門を発足させました。PD会員とは、JDSFの目的及び事業に賛同する者のうち、ダンスの演技、ダンスの教授で生計を立てている者で、PD資格試験に合格しPD資格登録した会員をいいます。PD会員は、定款に定める特別会員（プレミア会員）に分類され、加盟団体に所属する正会員及び一般会員（ゼネラル会員）と区別されています。  
JDSF-PDはWDSF-PDに直結する部門です。

## ビジョン -Vision-

1 ページ

あるべき未来の姿。将来の構想、方向性など。

## ミッション -Mission

3 ページ

使命、任務。活動の軸となるもの。

## ファシリテーション -Facilitation-

4 ページ

集団による活動が円滑に行われるよう、問題解決や合意形成をとり目的を達成する手法のこと。

